

子どもから高齢者・障がい者まで 食を通じたつながり支援

特定非営利活動法人 インクルひろば



1. 設立経緯・活動概要

所在地 : 神戸市北区南五葉1丁目1番鈴蘭台第4団地1号棟109号
(UR賃貸住宅の1階 商店筋の空き店舗)

設立年月 : 2017年10月



設立背景 : UR賃貸をはじめ、公営住宅の林立地。単身高齢者、障害者が非常に多い。
孤立死が年間4～5件あり、コミュニティの再構築が必要とされていた。

常時活動 : インクルカフェ（週5～6日）、子ども食堂（週1回）、うたごえ喫茶（月2回）
認知症カフェ（月1回）など。児童館への配食サービスや生活支援も実施。

その他、世代間交流イベントを開催



コロナ禍の中でつながった人々

①視覚障がいのある70歳代のAさん

一人暮らし。身寄りがいない。
月-金曜日 昼食をCAFÉで食べる。
話をしながら食べる唯一の食事。
それ以外の食事は、宅配弁当。
弁当の配達時に、郵便物を代読している。



②不登校の小学校4年生の女の子と母親

スクールソーシャルワーカーと連携した事例。

以前、子ども食堂を利用することができないかとの話があった。子どもの宅配弁当を始めた際にスクールソーシャルワーカーに連絡して、自宅への宅配を始めた。当初は、弁当のお届け時は出てくれず、ドアにかけて渡していた。

1年ほど過ぎたころ、母親と話をする機会が増えてきた。自宅がひどく散らかっていることにこちらが気づいてきた。スクールソーシャルワーカーと相談、協力しながら 母親と会話を重ね、自宅の清掃を手伝うことになったことで、親子の状態が分かり、他の関係機関と連携、協力しながら現在も支援を続けている。子どもが子ども食堂に来るようになっている。

必要に応じて形を変えながらその人に合わせて

孤独・孤立問題についての取り組み

地域の中で人がゆるやかにつながるために継続する活動

- いつもある居場所
- 誰でも来れる居場所
- 様々な年代の人と自然に出会えるところ
- 楽しい時間を過ごせるところ

インクルーシブ
な居場所
子ども食堂



コロナ禍の中、アウトリーチしてみたら

当人が声に出せない

いろんな困ったが見えてきた

→相談・連携しながら関わり続ける

あんしんすこやかセ
ンター

社会福祉協議
会

インクルひろば

行政機関 神戸
市

スクール
ソーシャル
ワーカー
児童館・学校